



# 韓国が結んだ自由貿易協定 TPP(環太平洋経済連携協定)への教訓を探る

安部首相が主導する日本の成長戦略(アベノミクス)は、その「3本の矢」の第一弾と第二弾(金融緩和と財政出動)が功を奏し、日本経済は株高そして雇用状況改善と順調な道を歩んでいるように見える。しかし、長期的な成功の鍵は、第三弾の政策である「規制改革」を実現できるかにかかっている。規制改革の鍵を握っているのが、TPP(環太平洋経済連携協定)の成否である。TPPは、日本とアメリカという経済大国間の自由貿易協定にとどまらず、カナダ・ベトナム等の重要国も含んでいる。しかしTPPに対しては、農業関係者だけでなく医療関係者などから、TPPがもたらす日本の規制改革に反対する意見が打ち出されており、国論を二分する状況となっている。

本セミナーは、このTPPについて考えるための最良の素材として、韓国が既に締結した大型FTA(とくに韓国・アメリカFTA及び韓国・EU FTA)を取り上げる。韓国でのFTA問題の第一人者であるソーン教授に、韓国での議論について報告していただき、TPP検討についての示唆にも及んでいただく。

日時 平成26年7月30日(水) 15:00～17:00

場所 千里山キャンパス児島惟謙館1階 第1会議室

講演 Kiyoun SOHN (キョウン・ソーン)

(韓国 インチョン国立大学国際貿易学部教授)

司会 滝川 敏明(経済法研究班研究員、法学部教授)

- 講演は英語で行われますが、区切りごとに大意を日本語でお伝えします。
- 聴講自由 多数のご来場を歓迎いたします。
- 問合せ先 〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学研究所事務グループ  
TEL 06-6368-0329/FAX 06-6339-7721/E-mail: hogakuken@ml.kandai.jp